

東京ケーブルネットワーク株式会社 放送番組審議委員会議事録

開催日時 平成26年5月30日
(14:00～16:00)

開催場所 東京ケーブルネットワーク本社会議室

放送番組審議委員

委員長 (文京区) 外山滋比古
委員 (文京区) 渡辺泰男、野掘勝明
(荒川区) 小泉定弘、斎賀靖佳
(千代田区) 中村建夫、林勇

(委員総数：7人)

当日出席委員

外山滋比古、野掘勝明、小泉定弘、中村建夫

(出席委員数：4人)

当日欠席委員

渡辺泰男、斎賀靖佳、林勇

(欠席委員数：3人)

東京ケーブルネットワーク株式会社

代表取締役社長執行役員	棟田和博
取締役常務執行役員	藤田幸久
制作部次長	瀬間健司
制作部業務グループ長	大野寛子
制作部番組・編成担当	松尾遼
事務局(書記)	堀口麻琴
	三山巖
司会・議事進行	佐藤圭一

議事内容

1. 委員会開始の挨拶、番組審議委員、出席者紹介、配布資料説明

2. 社長挨拶（棟田社長）

当社の取り組みについてご報告

- (1) 文京区、荒川区、千代田区に光ケーブルを設置し、各家庭まで放送を届ける準備をしています。
- (2) 皆様の家庭のリビングで、放送局からの番組だけでなく、インターネット経由の映像も見られるサービスを7月から始める予定です。
- (3) 6月2日から4Kテレビの試験放送を始めます。他に40社参加予定。文京区、荒川区、千代田区に一区ずつ設置し皆様に4Kテレビを見てもらう機会を提供します。

弊社は日頃から地域の情報を一番たくさん流すメディアとなるよう努力中で、先日は湯島天神からの生放送を行い、大変好評でした。今後も、生の情報をはじめ、たくさんの地域情報を提供する予定です。

3. 会社の現況についてご報告（藤田常務）

- (1) 私どもの会社では3つのミッション、日本一のお客様対応、地域貢献度の高い放送、利益上げを掲げています。
- (2) 昨年、三区親善少年野球大会を実施いたしました。これまでは個別に取材していましたが、初めて三区合同のものを開始しました。地域の絆づくりの一環として始めました。なかなか意思統一をはかるのが大変だったものの、何とかこぎつけ、成功したので、今後も続ける予定です。
- (3) ドラマチックフォトコンテストを再度開催する予定です。毎回、内容も充実してきました。今回からは、若干内容を変えるものの、引き続き実施予定。これまでは三区在住、在勤、在学が対象だったが、これからは、三区内で撮影したものであれば問題ないということで、対象を広げて行います。今年は千代田区で展示を予定しております。
- (4) さきほど話があったとおり、生中継を先日行いました。反響が多いことに驚いたので、今後も研究しながら、地域貢献として役立てていきたいと考えています。

4. 制作部業務について（瀬間）

- (1) 昨年ハイビジョンに切り替わり、都市対抗野球についてもハイビジョンで生放送しました。
- (2) スポーツ祭東京を、ケーブル局共同で番組制作、放送することができた。
- (3) その他、地域のイベント、少年少女のスポーツ（野球・相撲など）に力を入れて放送をしてきました。
- (4) ケーブルテレビ局同士の番組交換が、ここ一年で促進されました。
- (5) 上記(4)の連携が進んだため、今年の7月から、高校野球の東東京野球大会を生放送することになりました。
- (6) 区役所との連携も進み、防災協定を結ぶに至りました。防災無線は聞きづらい面がありますが、これをテレビでも見られるようにするなどこれから努力する予定です。

5. 平成25年度の番組・編成について（松尾）

- (1) 25年度の変更点として、たばさとインフォメーションと題し、弊社サービスや専門チャンネル紹介をする番組内容に変更しました。この番組はそのあとも1か月の再放送を行っております。
- (2) 「あらぶんちょ」は、町会長や社長など、長とつく方へのインタビューを実施する「長（おさ）」や、ピラティス、ベーカリーショップの紹介など昨年度も様々な視点から企画し、番組を制作しました。荒川区出身の大野泰広が担当するコーナーでは区内の方100人とのじゃんけんや、物々交換に挑戦し、多くの方との交流ができていくだけでなく、参加者意識を持っていただくことに成功し、社内外で好評を得ております。
- (3) 少年少女のスポーツという点に力を入れ、昨年同様少年少女わんぱく相撲大会の特別番組を制作し、25年度は荒川区・千代田区の少年野球大会を撮影しました。その他、大会自体を主宰、運営し、こちらも特別番組にて放送いたしました。野球以外には、少年サッカーを、文京区にある日本サッカー協会に協力を依頼し、著名な指導者に収録に加わってもらいました。
- (4) 商店街を取り上げた番組、千代田区や荒川区に縁のあるつくば市を紹介した番組の制作、千葉県のケーブルテレビとの共同事業で、親子で稲作体験する「農業キッズ」を実施、2局合同で番組制作をいたしました。
- (5) 他局との共同制作番組では、TDNグループ（東京デジタルネットワーク）にて共同制作を実施、北から南まで取材した映像を集め、共同制作番組として放送しました。
- (6) 高校生の映画コンクールを主催する団体との連携を強め、弊社会議室での高校生向け映画制作セミナーを継続して実施しております。

6. 平成26年度の番組・編成について（松尾）

- (1) 本年度は生放送、生中継に向けて、様々な展開を計画中です。生放送を実施することで、双方向の水平コミュニケーションを確立し、新鮮で地域に役立つ情報をお伝えすることでより地域密着を体現できるよう検討をしております。
- (2) 今後現行のハイビジョンの4倍の画質をもつスーパーハイビジョン、4～8K放送にもケーブルテレビ業界は動き始めており、すぐに放送するというわけではないものの、4K映像にて地域の歴史を残せるよう、4Kでの素材撮影についても検討中です。
- (3) 学生や地域が制作に参加する番組の新しい在り方も引き続き研究しており、今年度もわかりやすく親しみやすい番組・編成を目指していく予定です。

7. 各委員からのご意見・ご要望

外山委員長

チャンネルが増えたことは結構なことだが、それによって情報過多がおきている。それによって受け手の変化がおきている。従来の送り手と受け手の関係が、対等とまではいかななくても、より距離が近づいている。それにより、テレビ離れ、たとえば10年前に出版業界でおきたような状況が起こりつつあると感じる。受け手はより身近な生活情報を求めており、その点ではケーブル業界は強みがあると思える。天気予報も、東京全体では意味がなく、今のテレビはそのようなニーズにこたえていない。そのような生活情報が提供され、どの地点で何が起きそうかを報じてほしい。今は実利的な情報が求められている。さきほどの天気の情報を提供することにより、一日に何度かケーブルテレビを見るようになると思う。

小泉委員

ケーブルテレビは地域の情報を身近に感じられるもの。写真展については、区外の方も対象となることで広がりを持たせたのではないかと思う。地域密着でありながらも、広がりをもたせたところが、とても面白く、良いところに収まってきた印象。何度か続けることにより、「あらぶんちょ」という言葉自体もより浸透すると思われる。

湯島天神のライブを行ったそうだが、何が起こるかわからない面白さがある。今の時代、作りこむ、変換することが多い中で、そのまま伝えるというのは面白い。他のものにも今後広げていくべき。

野球のTCN杯ができたが、他にも芸術などにも広げてはどうかと思う。

野堀委員

番組を見ていて、よく作っていると思う。わかりやすく、人（地域の方）をよく巻き込んでいる、という印象。今までテレビは集めて撮っているだけという印象だが、TCN杯、農業体験についても、自ら主催することにより、視聴者を巻き込んでいることがよくできていると感じた。映っている人は再放送で見たときに話が広がるのではないかと思う。一ヶ月後くらいに放送すると、生放送・再放送だけに終わらない深みが出てくると思う。

チャンネルを見せる工夫をもっとするべき。これだけの良い番組をつくっても、見ている人が少ないのではないか。工夫が足りないものとして、データ放送やEPGがあげられる。やっていることを伝える努力をしていくべき。

中村委員

野球大会、相撲大会は、以前は直接見に行かないと見られなかったが、今はテレビで見られてとても良いことだと思う。

番組交換では、地方の祭りが見られてとても面白く、いつも楽しませてもらっている。

身近な場所が映ることもあり、ローカルな番組は親近感があり、とても望ましい。

8. いただいた意見を受けて（瀬間）

- (1) 現在、機器の技術が向上しており、そのこともあり生放送に踏み切ったので、今後はより頻度、精度を上げていきたいと思えます。
- (2) 発信の仕方についても工夫が必要で、緊急放送などの仕組みもこれから導入していきたいと思っています。
- (3) 地域の方を巻き込むことはまさに今取り組んでいるところです。高校生の映画コンクール、野球放送など、学校や地域と連携して、地域の皆さま、地域活動を盛り上げていきたい。
- (4) EPG、データ放送については、あまり改善は進んでいないが、今後工夫していく予定です。

9. 閉会の挨拶（棟田社長）

今日はありがとうございました。

なかなか地上波、競合他社ではできないことをより充実させていきたいと思う。

この一年かけて今ご意見いただいたことに取り組み、来年この場では、より良くなったといわれるように頑張りたいと思っています。

以 上